

「More AWAJI」に込めた思い

淡路市が目指す未来を表すメッセージ

「More」には

「MORE」には、淡路市の魅力や価値をさらに高めていくことそして、市民一人ひとりの可能性や挑戦が広がり自分らしく輝けるまちを目指すという思いを込めています。



「暮らすほど、好きになる」には

市民アンケートやワークショップで出てきた“愛着”や“住みやすい”と感じている方の思いを表現しています。かつては“島外にいる人の想い”から生まれた将来像。今回は、“今ここで暮らす人の実感”から生まれた将来像へとバトンを繋ぎます。

ロゴイメージ



なぜあえて「英語」なのか？

意味を一つに固定しないことで、市民一人ひとりの関わり方そのものが、この言葉を育てていく設計としています。また、言葉のストーリーを職員や市民が誇りを持って語れるようにという思いを込めています。

More PEOPLE



人を育み、“やってみたい”を支え合うまち

PEOPLE は、単なる「人」の意味ではありません。子どもから高齢者まで、一人一人が自分らしく暮らし、学び、挑戦し、支え合うこと。さらに、淡路市に暮らす人だけでなく、淡路市に関わる人とのつながりも含め、「人の力」が未来をつくるという思いを表しています。

POINT 人を増やすだけでなく、淡路に関わる「人の可能性」をもっと。

More LIFE



安心と心地よさが、暮らしを支え続けるまち

LIFE は「生活」の直訳ではなく、自然、住まい、道路・交通、防災など、日々の暮らしを支える環境全体を表します。便利さだけを追うのではなく、淡路らしい自然や風景と調和しながら、「ここで暮らしてよかった」と感じられる日常を豊かにしていくという思いです。

POINT 便利さだけではなく、「淡路で暮らす豊かさ」をもっと。

More ENERGY



地域資源を、新たな価値へ変えていくまち

ENERGY は、電気などの意味ではなく、農業・水産業、商工業、観光、企業、人の挑戦など、淡路市を動かす「活力」を表します。地域にある資源や魅力を生かし、新しい仕事、交流、挑戦につなげ、まちに前向きな動きを生み出していくという思いです。

POINT 地域にある力を、未来を動かす「活力」へ。

More TOGETHER

一緒につくる、これから

TOGETHER は「共創」の直訳ではありません。共創を英語にすれば Co-creation が一般的ですが、ここで大切にしたのは「何をつくるか」だけでなく「誰と、どうつくるか」です。市民、地域、事業者、学校、行政などが、それぞれの強みを持ち寄り、淡路市のこれからを一緒につくる。その姿勢を、分かりやすい「TOGETHER」で表現しています。

POINT 「つくる」こと以上に、「一緒につくる」ことを大切に。